

今年の夏も猛暑

今年の日本は、また猛暑になる可能性が高くなってきました。現在中南米で異常気象が多発しています。中米パナマでは干ばつにより、パナマ運河の通航が制限され、かたやブラジルでは豪雨による洪水で大きな被害がでています。アメリカではハリケーンが多発している。異常気象の原因は太平洋赤道域の日付変更線付近から南米沿岸にかけて、海面水温が平年より高くなっており、一年ほど続くエルニーニョ現象です。この冬は非常に強いエルニーニョ現象（スーパーエルニーニョ）が発生しました。大規模なエルニーニョが終わったあとは短期間でラニーニャ現象が発生する傾向にあります。

ラニーニャ現象とは南米ペルー沖の太平洋の海面水温が基準値より0.5度以上低くなる状態が続く現象で、世界各地にて大雨や猛暑など異常気象が発生しやすくなります。ラニーニャ現象が発生すると日本では太平洋熱帯域の西部で積乱雲の活動が活発になり、日本付近では太平洋高気圧が北に張り出しやすくなるため、夏は猛暑になりやすいと言われています。

4月の平均気温はエルニーニョ現象も影響もあり基準値を2.76度上回り観測史上最も高くなりました。ラニーニャ現象の影響は8月頃からはないかと言われていますが、またまた猛暑の夏が来そうです。猛暑による熱中症対策や台風、大雨などによる災害などに備えて非常用の食料や水、ハザードマップの確認など準備が必要と思う。

鎌野



交通安全

もう7年くらい、安全運転管理協会の副会長をさせていただいています。その前の理事時代を含めると10年以上になります。特に私が模範運転手だからという訳では勿論ありません。

安全運転管理者制度とは、自動車の使用者が道路交通法第74条の3の規定に基づき、自家用自動車（いわゆる「白ナンバー」）を一定台数以上使用している事業所において、安全運転管理者や副安全運転管理者（以下「安全運転管理者等」といいます。）を選任し、事業所における安全運転の確保を図るための制度です。

現在、道路交通法施行規則第9条の8に基づき、1拠点あたり、乗車定員10名以下の自動車5台以上又は乗車定員11名以上の自動車1台以上を保有する場合は、安全運転管理者1名の選任が必要です。

ということで、安全運転管理協会に当社も法律で加入しなければなりません。この役をやっていると、市内の事故の情報が自ずと入ってきて、死亡事故が起こった現場の調査などにも立ち会い、どのように改善すればよいか等、意見を求められたりします。そんな時に思うのは、交通事故を起こそうとして起こす人はいないけれど、ほんの一瞬の気の緩みや油断で事故は起こってしまうということです。車を運転する人はみな常に、事故を起こす可能性があるのです。気が付いた時には交通刑務所なんてことも、他人ごとではないのです。

以前着任していた警察署長が、交通事故を防ぐには「スピードを出さない」「車間距離を置く」「安全確認を怠らない」この3つを守れば、ほぼ防げると常日頃、言っておられました。なるほどなど、私も子供達や会社の面々に、忘れた頃にたびたび言っています。皆さんも、お気を付け下さいね。

英樹



配り

第300便

勝亦製材駿河鉄骨組

住まい塾御殿場教室

TEL (0550) 87-0048

FAX (0550) 87-1237

〒412-0035 御殿場市中山518番地

まだ堅き桜の蕾眺めては巻き締むマフラー桜祭りの夜
ねがみともみ



「寒いね」と言えば「富士山まっ白」と誰某となく朝の学び舎

勝亦りつ子



引き際は

KING KAZU カズことプロサッカー選手の三浦知良選手がプロ 40 年目にして現役続行するらしいと話題になっています。現在カズはポルトガルのリーガ・ポルトガル 2 部の UD オリヴェイレンセ所属の 57 歳。現役プロサッカー選手としては世界最年長だろう。

17 歳で名門静岡学園を中退し、単身ブラジルに渡りプロの経歴を歩み始める。Jリーグ開幕前の 1990 年に帰国し、読売クラブ（現 東京ベルディ）に移籍。当時中学生だった私は、裾野の関東自動車のグラウンドで読売クラブ対日産自動車の試合を観る事になる。帰国後間もないカズは当時サッカー少年の間ですでに話題になっていたのだった。Jリーグ開幕前、当時は選手のロッカールームにまで入っていくことも出来た。試合終了後にロッカールームに押し寄せて（本当はダメだったみたいだけど）カズの裸見たぞー、なんて騒いでいた記憶があります。

そんなカズが現役続行。ベンチを温める事の方が多いの現状だ。プレーの質も衰えを隠せず、全盛期の身体のキレはもう見られない。それでもプロであり続けるために、誰よりも練習しストイックに身体のメンテナンスを怠らないらしい。

そんな彼を見て、見ていられない、見苦しいなどの声も聞こえる。もう引退してくれと。

でもね、私は思うんです。もちろんプロである以上勝利が最優先、観客を魅了することが大切なのです。ですがカズの魅力ってそれだけじゃないんですよ。彼はサッカーというスポーツが心底好きなんだろうと思うんです。とにかくサッカーをやり続けたいんだと思う。永遠のサッカー少年。そのサッカー愛と情熱を私達に見せてくれることこそが今の彼の魅力であり、存在意義なのではないかと思う。引き際は自分自身が決めればいいのだ。

無様にプレーしたって良いじゃないか。たとえ数分しかプレーしなくても、しがみついている、なんて言われても。恐らく彼は世界で一番サッカーを愛しているのだから。それがカッコイイのだから。



柳田敏和



諏訪

緑鮮やかな季節となりました。お茶摘みも終わり、と言いましても、二人用の機械でお茶を刈りますので時間も手間も短くなり昔に比べ断然楽になりました。しかしながらお茶屋さんが葉っぱの買い葉をしない。今年はとてもいい具合に伸びていいお茶だ！と、量がとれそうでも、全部を加工すると加工費と真空パック代がかかってしまい、そこに肥料代や草取りの人件費を加えると・・・恐ろしいことになります。今は急須で入れるおいしいお茶を飲まなくなりました。ペットボトルが主流です。急須で飲むと茶殻が出ますしね、おいしいお茶はそれなりのお値段もします。

急須で飲む新茶、少々苦みがあり甘く感じられ、お茶の香りがする。美味しいんですけどね。消費が少ないので、お茶を作ることを辞めてしまう人が多いんだそうです。飲まないのだから、そうなります。お茶屋さんに加工する人を紹介して！と言われても・・・ねえ～

お茶がはじまる前にと連休に長野の諏訪大社巡りに車で行って来ました。宿泊は諏訪湖。道路も混雑してはなく、諏訪湖は静か・・・。諏訪大社も 4 社巡りましたが、外国人も少なくストレスフリーでした。諏訪の大祭りは御柱を木落し坂から落としながら人が乗ったりしますが、その御柱と木落の坂を見て来ました。木落坂、傾斜 45 度、ここから人と柱が落ちるのでから、そりゃあケガもします。山から木を切り出してから始まり、皮をむき 1 社につき 4 本の御柱を奉納する・・・想像するだけでも大祭りですよ。また、ゼロ磁場の場所で知られる「分杭峠」へ足を運び、シャトルバスで分杭峠まで・・・。バス一台やっとの峠道を通り、ゼロ磁場近くの滞在時間 10 分、残念ながら持参した方位磁石はクルクル回らず、体感もじりじり感じませんでしたが、気は心ということで、磁場を浴びたと言いついて帰路につきました。気持ちの良い風が吹くころは、人間の行動も活発化します。

ねがみ

断捨離

断捨離まではいかになくとも物を整理し、スッキリ暮らしたいものだと思い片付けをしているが、結局物の位置が変わるだけであまり進んでいない今日このごろ。不用品を処分し物を減らすのが一番だと思うのですが、もしかして後で必要かもとか、これにはこんな思い出が・・・などと考えてしまいます。皆さんはどうされていますか？

断捨離をスムーズに進めるコツは、①小さい場所、物から始める。②迷った時は一時保管。③買い直しできないものは勢いで捨てない。だそうです。私は、②の一時保管が多くてなかなか進みませんが・・・。

①の小さい場所とは引き出しの中とか、棚の一段とかでも良いみたいです。とにかくやらないといつまでもごちゃごちゃしているので、小さいところから、あきらかにいらぬものを片付けていけばいつかは終わるかしら～と頑張ってみようか。まずは、衣替えをしながら何年も来ていない服を見直したいと思います。

祥子

